

# 沖縄県内のSDGs進捗状況のモニタリングの概要

～「沖縄県SDGsモニタリング報告書」について～

令和6年3月

沖縄県企画部企画調整課  
SDGs推進室

# SDGsに関するモニタリング実施の背景について

## 1. 国内の状況

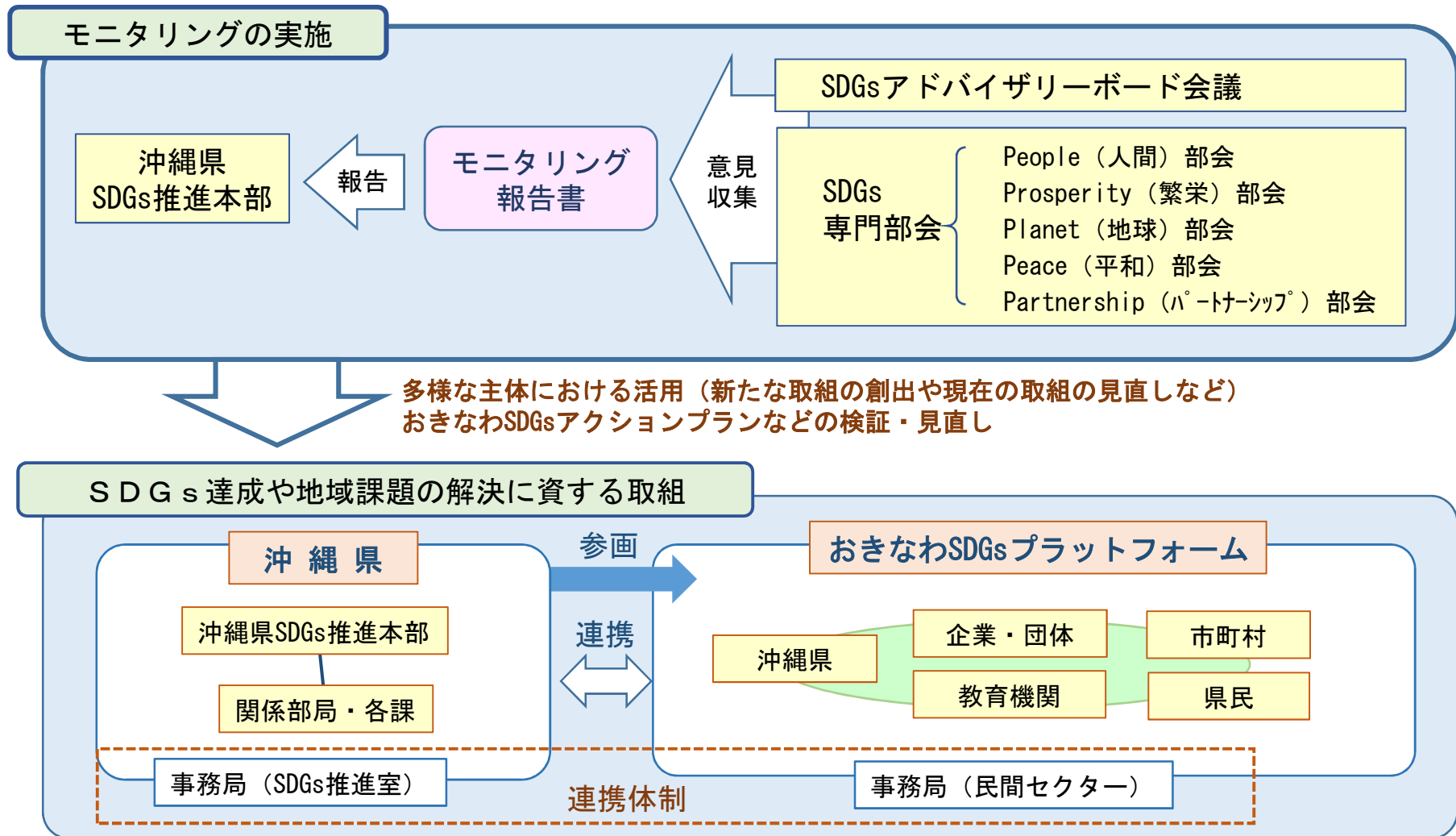
- (1) 2023年12月の国の持続可能な開発目標（SDGs）推進本部（本部長：内閣総理大臣）において、「持続可能な開発目標（SDGs）実施指針」が改定されたところ。
- (2) 同実施指針において、モニタリングに関連し、以下の内容が地方自治体に対し期待する取組として記述されている。
  - ①進捗を管理するガバナンス手法を確立すること。
  - ②情報発信と成果の共有としてSDGs達成に向けた取組を的確に測定すること。
  - ③ロカール指標を設定すること。

## 2. 沖縄県の状況

- (1) 2021年9月の沖縄県SDGs推進本部において、「沖縄県SDGs実施指針」が決定されたところ。
- (2) 同実施指針において、モニタリングに関連し、以下の内容が位置づけられている。
  - ①取組状況等のモニタリング（進捗のフォローアップ）を実施
  - ②SDGs達成に向けた進捗状況等を、多くの人々の参画のもと透明性をもって点検し、フィードバックを図る（SDGs専門部会、SDGsアドバイザーボードに役割を位置づけている）
- (3) 2023年3月に開催された「沖縄県SDGs推進本部」において、2023年度から毎年度、モニタリング報告書を同本部に報告することが確認されている。

# SDGsに関するモニタリングの実施について

モニタリングについては、「SDGs専門部会（5部会）」及び「SDGsアドバイザリーボード会議」において、モニタリング報告書に関する有識者の意見を収集し、庁内意見なども踏まえて整理した報告書を「沖縄県SDGs推進本部」に報告するスキームで実施する。モニタリング報告書を公表することとしている。



# 「沖縄県内のSDGs進捗状況のモニタリング報告書」の構成

| 章  | 章のタイトル             | 説・項のタイトル  | 説明   |
|----|--------------------|---|--|
| 1章 | 報告書作成の背景           | —   | 報告書の背景や経緯、目的などを記載  |
| 2章 | モニタリングにかかる外部動向     | 1. 自発的ローカルレビュー（VLR）<br>2. 地方創生ローカル指標リスト<br>3. SDGs達成度評価指標   | モニタリングや指標設定にかかる国内外の動向などを記載   |
| 3章 | モニタリングプロセス         | 1. 本報告書におけるモニタリングの概要<br>2. モニタリング推進体制   | モニタリングの方法、モニタリング体制の概要を記載   |
| 4章 | 沖縄県のSDGsに関するモニタリング | <u>1. 17のゴールごとのモニタリング</u><br>(1) 17のゴールにおける「前進」している指標の割合<br>(2) 17のゴールごとの各指標の進捗状況等<br>①～⑰ ゴール1～17の各指標の状況<br><br><u>2. 「おきなわSDGsアクションプラン」のモニタリング</u><br>(1) 全体の状況<br>(2) 優先課題ごとの状況<br>【優先課題①】～【優先課題⑫】の各指標の状況 | 1節では、17のゴールごとに指標を設定し、年次変化の進捗状況と全国値比較の結果を整理<br><br>2節では、「おきなわSDGsアクションプラン」の優先課題、SDGs推進の目標に位置づけた指標に基づき、進捗状況と達成度を整理 |
| 5章 | 沖縄県内のSDGs活動状況      | <u>1. 「おきなわSDGsプラットフォーム」を含めた沖縄県の取組</u><br><br><u>2. 「おきなわSDGsプラットフォーム」会員の取組事例</u>   | 1節では、沖縄県やプラットフォーム事務局の活動実績を整理<br><br>2節では、プラットフォーム会員の取組事例を記載<br>（ポータルサイトで紹介した事例）                                  |

# 「17のゴールごとのモニタリング」の指標選定について

- ◆17のゴールごとのモニタリングの指標は、内閣府の「地方創生SDGsローカル指標リスト」や国連地域開発センターの「SDGs達成度評価指標」などを踏まえ、年度ごとの現状値が取得できる指標を選定した。
- ◆国連のSDGsターゲットや県内の地域課題を踏まえ、全国値との比較が可能な「共通指標」を主な指標として選定しつつ、県内の地域特性を補完する「ローカル指標」（全国値との比較が困難）を選定した。  
（新たな地域課題の顕在化、時代変化などを踏まえながら、指標の見直しも検討予定）

## 【指標の選定にあたっての視点（キーワード）】

| SDGsのゴール              | 国連の17のゴールに関連するキーワード             | 沖縄の地域課題に関連するキーワード    |
|-----------------------|---------------------------------|----------------------|
| 1. 貧困をなくそう            | 持続可能な生計を確保するための所得と資源、社会保障制度 等   | 子どもの貧困対策、県民所得の向上 等   |
| 2. 飢餓をゼロに             | 食料の生産・共有・消費の方法、農業生産性、飢餓や栄養不良 等  | 持続可能な農業振興、子どもの貧困対策 等 |
| 3. すべての人に健康と福祉を       | 平均寿命、保険制度のより効率的な財源確保、医療へのアクセス 等 | 健康長寿沖縄、充実した医療提供体制 等  |
| 4. 質の高い教育をみんなに        | 質の高い教育機会、包摂的な教育、生涯学習 等          | 多様な学び、生きる力を育む学校教育 等  |
| 5. ジェンダー平等を実現しよう      | 政治・経済的意志決定プロセスへの参画、職場での男女平等 等   | 女性活躍、男女共同参画 等        |
| 6. 安全な水とトイレを世界中に      | 適切な給水、衛生施設・衛生状態 等               | 安全・安心・会的に暮らせる生活基盤 等  |
| 7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに | エネルギー効率の改善、再生可能エネルギーの利用拡大 等     | 再生可能エネルギーの導入、省エネ化 等  |
| 8. 働きがいも経済成長も         | 1人当たり実質GDP、労働生産性、賃金、失業率 等       | 生産性向上、県民所得向上、働き方改革 等 |
| 9. 産業と技術革新の基盤をつくろう    | 技術の進歩、イノベーション、インフラへの投資 等        | イノベーション促進、DX推進 等     |
| 10. 人や国の不平等をなくそう      | 社会的弱者や疎外された人々 等                 | 非正規雇用、高齢・障害者・外国人活躍 等 |
| 11. 住み続けられるまちづくりを     | 都市、都市住民、都市化がもたらす課題、効率的な都市計画、 等  | 人口動態、地域防災力、住宅等インフラ 等 |
| 12. つくる責任つかう責任        | 資源効率、持続可能な消費とライフスタイル 等          | 廃棄物等の発生抑制、リサイクル促進 等  |
| 13. 気候変動に具体的な対策を      | 気候変動、温室効果ガスの排出量、レジリエント 等        | 温室効果ガスの排出抑制、気候変動適応 等 |
| 14. 海の豊かさを守ろう         | 汚染による沿岸水域の劣化、海洋汚染 等             | 沿岸域の環境保全、赤土等流出防止 等   |
| 15. 陸の豊かさも守ろう         | 森林、生物多様性、天然資源の管理強化 等            | 森林保全、生物多様性 等         |
| 16. 平和と公正をすべての人に      | 平和で包摂的な社会、殺人等の犯罪、子どもに対する暴力 等    | 交通安全対策、児童虐待の防止 等     |
| 17. パートナーシップで目標を達成しよう | 民間セクター等のパートナーシップ、実施手段（税収・債務等） 等 | 多様な連携と協働の創出 等        |




# 「17のゴールごとのモニタリング」における評価方法について

## 1. 進捗状況の評価

右の評価基準をもとに、前年値と現状値の変化率を「前進」・「横ばい」・「後退」の3段階で評価する。

その割合をゴールごとに算定する。

各指標の状況は矢印により記載する。

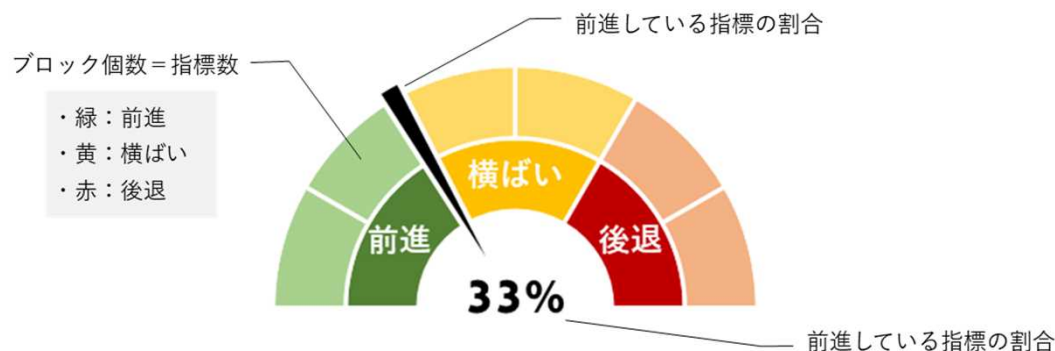
| 評価  | 表示  | 「進捗状況」の評価基準  |
|-----|---|--|
| 前進  |  | 前年値と比較した現状値の変化率が小数第二位で四捨五入した結果が+5.0%以上（前進の方向を+として評価） |
| 横ばい |  | 前年値と比較した現状値の変化率が小数第二位で四捨五入した結果が-5.0%より大きく5.0%未満      |
| 後退  |  | 前年値と比較した現状値の変化率が小数第二位で四捨五入した結果が-5.0%以下（後退の方向を-として評価） |

## 2. 前進している指標の割合のパネル化

「前進している指標の割合」を参考として、17のゴールごとにパネル表示する。パネル化にあたっては3つの分類の割合もあわせて表記する。

凡例は以下の通り。



この割合は設定した指標により変動するものであり、県内のSDGsの状況を確定するものではないことに留意する必要がある。



## 3. 共通指標の全国値との比較

全国値との比較が可能な指標は、右の評価基準をもとに、評価結果を矢印で記載する。

ローカル指標は全国比較ができないため、ゴールごとのパネル化は行わない。

| 表示  | 「全国比」の評価基準   |
|---|--------------|
|  | 全国値を達成している指標 |
|  | 全国値を未達成の指標   |

# 「アクションプランのモニタリング」における評価方法について

## 1. 「おきなわSDGsアクションプラン」のローカル指標に関する評価方法

### ① 進捗状況の評価

各指標の評価については、前年度値(基準値)と現状値を比較し、経年的な変化を以下の3段階で評価する。

| 評価  | 表示 | 「進捗状況」の評価基準           |
|-----|----|-----------------------|
| 前進  |    | 前年度値(基準値)と比較して前進している  |
| 横ばい |    | 前年度値(基準値)と比較して概ね変わらない |
| 後退  |    | 前年度値(基準値)と比較して後退している  |
| その他 | —  | 最新のデータが無いいため比較が出来ない   |

※各統計方法の特性上、現状値が示せない指標については、統計データが確認できる年度に評価を行う。

※今回の評価は、初回であることを踏まえ、前年度値の代わりに基準値と比較している。

### ② 達成度の評価

各指標の評価については、目標値に対する現状値の割合から目標値に対する達成度を算出する。

$$\text{達成度 (\%)} = (\text{当該年度実績値} - \text{当初値}) / (\text{目標値} - \text{当初値}) \times 100$$

## 2. 進捗状況のパネル化

12の優先課題ごとに、進捗状況の割合などをパネル表示する。

指標の各指標の評価については、目標値に対する現状値の割合から目標値に対する達成度を算出する。

